

釧路の観光、もてなし提言

あすなろク 官民一体、連携必要

釧路観光のあり方を考えた釧路
あすなろクラブの9月例会

中小企業経営者の異業種
交流を推進している「釧路
あすなろクラブ」(菊池吉
郎会長)の9月例会が19日
夜、釧路キャッスルホテル
で開かれ、釧路観光をテー
マに観光振興策や観光客へ
のもてなしを提言した。

この日は約30人が出席

し、第二部会の会員たちが
「これでいいのだろうか？
釧路の観光―観光客の立場
から見た釧路」をテーマに
発表。8月下旬に実施した
大型客船の観光客へのイン
タビューの様子を紹介しな
がら、「飲食店の満足度が
高い」「海産物を満喫して

いる」と観光客の生の声を
報告した。

「観光施設までの距離や
時間の記載のあるパンフレ
ットはほとんどない」と問
題点を指摘し、距離と時間
を記載したパンフレットの
作製や市が中心となった本
格的な観光歓迎団体の設置
などを提言。さらに「一人
ひとりにまちを思う気持ち
はあるが、それを生かす仕
組みが機能していない。官
民一体となった市民力が必
要」と関係団体の連携強化
の必要性を強調した。

(戸田英吉)

新 釧 路
新 聞

SENSHIN

9月21日土曜日

発行所 釧路新聞社

©釧路新聞社2013